

宮城県色麻町  
持続可能な未来をつくる、色麻のいま。

2023.10.01

Vol.

15

October, 2023

第 15 号  
隔月 1 日発行

# しかま支え合い 情報誌



特集

## 絆とともに 歩んだ日々



みんなで集まって話すと  
毎日の生活が楽しくなった  
この地域も好きになった

In  
上黒沢

KAMIKUROSAWA



集まってお茶っこ会をするブリティウーマンの皆さん。

上黒沢集会所にお邪魔すると、何やら楽しそうな話し声が聞こえてきます。声の主は、上黒沢地区を拠点にするサークル『ブリティウーマン』の皆さんです。

「きっかけは小学校のPTAだったんです。任期が終わる頃に、会えなくなっちゃうの寂しいねってことで、会を作ることを決めました。子どもの運動会の応援中に(笑)」と話すのは、会長の早坂美由紀さん。プ

### 子どもの運動会 応援の最中に結成

「きっかけは小学校のPTAだったんです。任期が終わる頃に、会えなくなっちゃうの寂しいねってことで、会を作ることを決めました。子どもの運動会の応援中に(笑)」と話すのは、会長の早坂美由紀さん。プ

リティウーマンという会の名前も美由紀さんの発案です。「『ブリティウーマン』っていう映画が好きだったんですよ。それで言っただけなんですけど、みんなOKだったんですよ(笑)」と笑います。

いざ名付けてみると、旅行の際、旅館の玄関先に「ブリティウーマン御一行様」と書かれて少し気恥ずかしかったこともあったそうです。そんな会も、今年でめでたく結成二十三年を迎えました。

この絆があったから  
地域も好きになった

ブリティで集まるときは、皆さん方言全開で話します。「標準語だとどこか冷たい感じがするし、おじいちゃんおばあちゃんたちに伝わらないですよ。訛りはコミュニケーションのためのテクニクですよ(笑)」と話すのは、早坂ひろみさん。「ここでみんなでなんでも話すと、情報交換にもなるし、ストレスの発散にもなります。普段の生活で、大笑い



↑話し始めるといつも笑いが絶えません。

↓地区の行事にも積極的に参加。



する場面ってそんなにないですよ。ここで集まるといつも大笑いしています。ブリティがあつて本当によかったなって思います」と、感慨深げに話します。

嫁ぎ先の地域に馴染むことは誰でも大変なことですが、上黒沢での暮らしが好きになったのも、ブリティが心の支えになっていたからだと皆さんは話します。



SDGs 目標 3



## 役割が人をつくる やってみることが大事

プリティが結成されて、それぞれの子育てもひと段落してくると、皆さんで積み立てをして、旅行にも行っていったそうです。「北海道とか京都にも行きました。韓国にも行ったことあるんですよ」と早坂ひろみさん。しかし、そのうち家族の介護が始まり出すと、なかなか家を空けるということも難しくなってきたそうです。それでも、近場のカフェやレストランに行くなどして、集まりは続けてきたそうです。

また、プリティの皆さんも、だんだんと頼られる世代になってきて、町や地域の団体の役職を任せられるようになってきました。「やっぱり最初はプレッシャーでしたよ」と話すのは早坂美由紀さん。「でもやっていくと、活動の意義が分かってき

ますし、他の地区の人とも知り合えるので、視野が広がりました。役割が人をつくるというんでしょうか、頼まれたらと、りあえずやってみるのが大事なんだなと思わされました」と、感慨深そうにしていました。

皆さんは、嫁入りから子育て、介護や地域活動など、様々なことを乗り越えてきました。それができたのも、思いを共有できる仲間がいたから。人のつながりの大切さを改めて感じさせられました。



地区運動会でも大活躍！



かっぱのふるさと祭りでパレードに参加した時の様子。



皆さんで旅行していた頃の様子。



SDGs 目標 11

## 地域の活動情報をお寄せください！ 生活支援コーディネーターの菅原が伺います！

こんにちは！色麻町生活支援コーディネーターの菅原一杉です！皆さんの地区で地域のために活動されている方や地区での活動、お茶飲み会や各種ものづくり等の情報がありましたら、色麻社協（65-2260）までご連絡ください。



色麻町社会福祉協議会  
色麻町生活支援コーディネーター  
菅原 一 杉

情報誌にてご紹介させていただきます。皆さんの地区の活動が、よりよい社会づくりに貢献していきます。ご協力よろしくお願いたします！

## EYE'S



### ●ふれあいは一と訪問鉢植え配達日●

10月20日（金）です！！

町内の七十五才以上の一人暮らしの方のお宅に、協力員さんが訪問する「ふれあいは一と訪問」。十月は鉢植え配達の日になっています。今年も加美農業高校の皆さんが育てた鉢植えをお届けいたします！

配達日は二十日の金曜日です。今年はどうな花が届くのでしょうか。

## ふれあいは一と訪問



色麻町社会福祉協議会

このマークが目印です。



# しかま支え合い掲示板

## お店のような味を自分でも！男性の料理教室 開催！

令和5年9月7日（木）、町保健福祉センター調理室にて、男性の料理教室が開催されました。対象は料理ができるようになりたい男性。この日はサバ缶トマトカレー、厚揚げとオクラの焼き浸し、しょうがのポテトサラダの3品に挑戦しました。参加者の皆さんは、慣れない手つきながらも、完成に近づくほどに手捌きもスムーズになっていきました。

全員で試食すると、参加者の皆さんは、「お店で食べるような味！自分で作れると嬉しいですね」「思っていたより簡単にできたので、ぜひ家でもやってみます！」など、舌鼓を打っていました。

男性の料理教室は今後も定期的に開催される予定で、次回は11月に開催予定とのこと。気になる方は、広報しかまをチェックしてみてください。



## お好きな絵本を1冊プレゼント！ブックスタート



色麻町社協では、ブックスタート事業を行っています。ブックスタートとは、絵本を楽しむ「体験」と「絵本」をセットでプレゼントする活動です。絵本を通じて、親子の心がふれあうひとときを持つきっかけづくりとなることを目的に開始しました。

ブックスタートには、親子の絆づくり等の「母子保健」の役割の他、子育てを応援する地域の人と親子をつなぐ「子育て支援」の役割、本に親しむきっかけをつくる「読書支援」の役割、住民同士がつながり、まちへの愛着を深める「まちづくり」の役割など、様々な役割があります。

町が行っている「1歳すくすくセミナー」の場をお借りし、絵本を1冊プレゼントします。公民館による読み聞かせもあります。セミナーにお越しの際は、お立ち寄りください。

## しかま支え合い情報誌 vol.15

発行：社会福祉法人色麻町社会福祉協議会

〒981-4122 宮城県加美郡色麻町四竈字杉成 27-2

TEL：0229-65-2260 FAX：0229-66-1713

E-mail：shikama.shakyo@vesta.ocn.ne.jp

URL：http://www.shakyo.or.jp/hp/287/

生活支援体制整備事業は、介護保険制度の地域支援事業の一つです。  
しかま支え合い情報誌は、色麻町生活支援体制整備事業の一環として発行しています。